

K a n z o M o n o g a t a r i

甘草ものがたり

甘草のことがわかる本



甘草ものがたり

甘草のことがわかる本

はじめに

はじめまして、甘草かんぞうと申します。

私のこと、知ってますよね♪

え！知らない!? ホントに？

有名なんですよ。

う〜ん例えば……ほら、漢方薬！

飲んだことありませんか？

たいがいの処方にも、私が入っているんですよ。

それとスナック菓子。

ちよっと袋の裏を見てみて下さい。

けっこういろんなものに使われているんですよ。



だからたいていの人は私のこと、
口にすることがあると思います。

なのにああ、みんなに気付かれにくい
いつも脇役の私……。

でもね！ 実はこの本は私が主役。

甘草と甘草屋敷のことをお伝えします。

案内役は甘草おじさんとウラルちゃん。

そしてウラルちゃんのおとうともいます。

これを読んだらあなたもりっぱな甘草ツウ！

それでは甘草ものがたりの

はじまりはじまり〜！

かんぞう
甘草より



～案内役紹介～



かんぞう
甘草おじさん

甲州市在住の60代。甘草の酸いも甘いも知りつくした人生の達人。



ウラルちゃん

甘草の葉っぱのような、緑のリボンがトレードマーク。甘草に関心をもつ希少な小学4年生。



おとうと

3歳くらい。いつもリュックを背負ってウラルちゃんにくっついていて、甘草にまったく興味なし。

おしめじ	…………… 04	案内役紹介	…………… 06
Chapter 1	甘草とは？ …………… 09	植物としての甘草／甘草の歴史／甘草と甘草屋敷の歴史	
Chapter 2	「甘草」を活かしたまちづくり …………… 14	「薬草の花咲く歴史の公園」から「甘草の里づくり」へ	
Chapter 3	甘草の栽培——植え付けから収穫まで …………… 16	甘草の苗づくり／甘草苗の植え込み／甘草の栽培／甘草の収穫	
Chapter 4	甘草の加工、一般的な使用例 …………… 21	甘草の加工方法／一般的な使用例	
Chapter 5	甲州市の甘草の商品化 …………… 23	甲州市独自の商品化への挑戦	
Chapter 6	将来の甘草の里づくり …………… 24	これからの甘草	
あとがき	…………… 25		
甘草Q&A	…………… 27	年表	…………… 30

やあ、ウラルちゃん！
甘草に興味があるのかい？
それじゃあおじさんが、
甘草の世界を案内してあげ
よう！



Chapter 1

甘草とは？

✿ 植物としての甘草

「甘草」はアジア、ヨーロッパなど世界的に広く分布しているマメ科の多年草です。薬用植物であり、根と根茎を乾燥させたものを生薬として使用します。効能は、鎮痛、鎮痙、解毒、鎮咳などがあり、約三〇〇種類ある一般漢方処方約七割に使用されています。種類は、ウラルカンゾウ、スペインカンゾウなど十数種類あり、薬用以外にも甘味料などの添加物としても使用されます。日本には年間千トン以上が輸入されています。

これらのことから「甘草」は薬用植物のひとつでありながら、暮らしに身近な植物でもあることがいえます。



✿ 甘草の歴史

「甘草」の歴史は古く、紀元前五世紀ごろに編さんされたと考えられる「ヒポクラテス全集」* や1〜2世紀ごろに編さんされたとする中国最古の医薬書「神農本草経」しんのうほんぞうききょうに甘草の記述があります。その他にも西洋、東洋の医学書を問わず、「甘草」の記述があり、喉や肝臓、腎臓などへの鎮痛作用がある薬用植物として紹介されています。

エジプトのツタンカーメン王の墓からも甘草の根が発見されており、日本においても奈良の正倉院しょうそういんに宝物ほうぶつとして8世紀ごろの甘草が保管されています。

これらのことから「甘草」は世界各地で古くから重宝されていたことがわかります。



8 甘草と甘草屋敷の歴史

「甲州甘草文書」（県指定文化財）によると、八代將軍徳川吉宗治世の享保五年（一七二〇）、幕府の採薬使丹羽正伯（丹羽正伯）が高野家の屋敷内にあった甘草を検分した結果、幕府御用としてその栽培と管理を申し渡されることとなりました。一反十九歩の甘草園は、年貢・諸役を免除され、高野家屋敷内で栽培する「甘草」は、薬の原料としてだけでなく、幕府直営の薬草園で栽培するための補給源として幕府へ上納することとなり、明治維新まで続きました。このことから高野家は、古くから「甘草屋敷」と呼ばれていました。

ちなみに甘草屋敷で栽培されていた甘草の種類は、ウラルカンゾウです。

幕府の採薬使が訪れたことから、享保五年以前から高野家

＊甲州甘草文書……甘草屋敷（高野家）に残された甘草栽培に関する文書。甘草栽培に至る経緯や甘草の本数、栽培方法、出荷、経費など細部にわたり、「甘草屋敷」を裏付ける資料です。



＊採薬使……八代將軍吉宗の命により、駒場薬園などを本拠として、蘭国を派し薬草等を採集・研究した人たち。

＊丹羽正伯……元禄四年（一六九一年）—宝暦六年四月—四日（一七五六年五月—二日）。江戸中期を代表する本草学者。伊勢国松阪（現・三重県松阪市）に生まれた医者。本草学を京都の稻生若水に学び、後に江戸幕府の採薬使に登用されました。

で「甘草」が植えられていることは有名であったと思われる。また、江戸時代は、日本各地で「甘草」の栽培がされていたようですが、現在その栽培地と甘草が残っているのは「甘草屋敷」のみです。

甘草栽培は、幕府上納のためだったので、当時から商品作物としては流通していませんでした。そのせいで幕府上納が終了した明治時代からは栽培を止めてしまいました。が、「甘草」は、甘草屋敷内で細々とではありましたが、毎年芽を出して絶えることはありませんでした。

甘草屋敷に現存している「甘草」は、わが国で最も古い株であるとされており、研究や国産化の対象として注目されています。

「甲州甘草文書」によると、畑は竹矢来で囲み、肥料はお米のとぎ汁を使い、大切に育てたそうだよ。



たけやらい……？
うーん……
こんな感じかな？

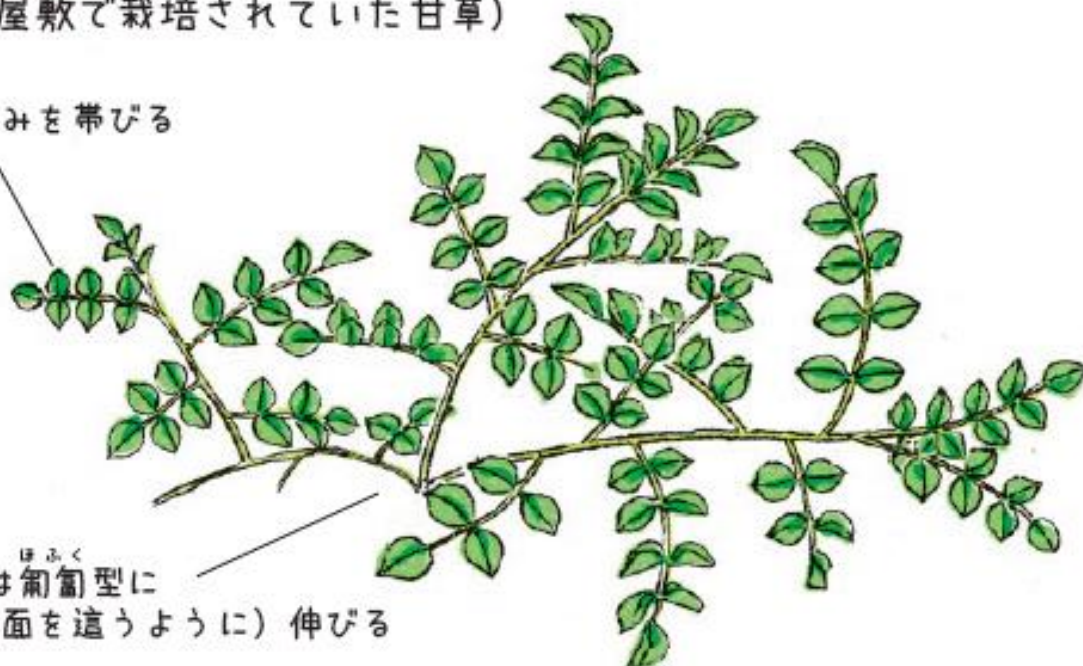


ウラルカンゾウ

(甘草屋敷で栽培されていた甘草)

葉は丸みを帯びる

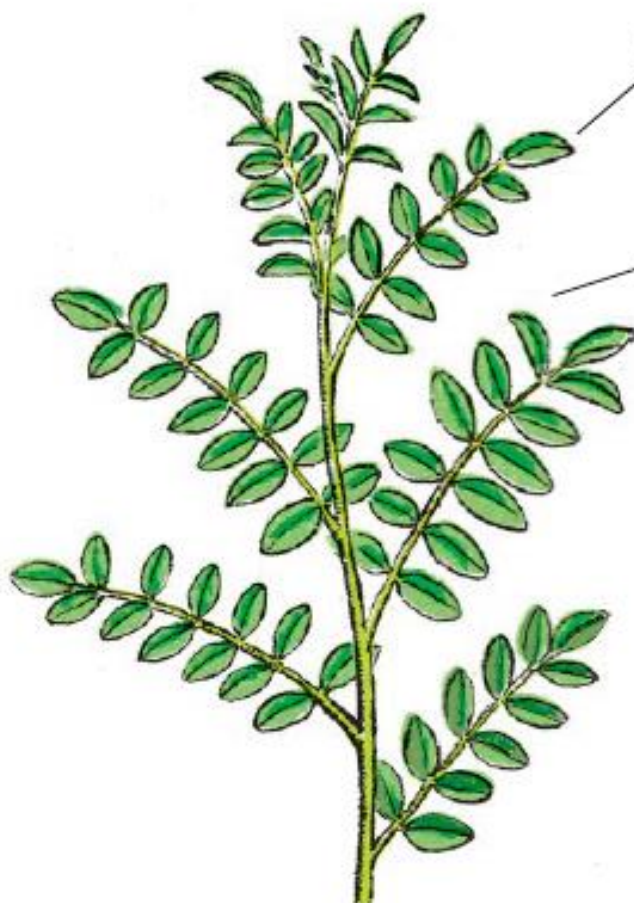
茎は匍匐型に
(地面を這うように) 伸びる



スペインカンゾウ

葉はとがって小判型

茎は直立型に伸びる





Chapter
2

「甘草」を活かしたまちづくり

※ 「薬草の花咲く歴史の公園」から

「甘草の里づくり」へ

甲州市では、塩山市時代の平成五年度に所有者から高野家住宅（現主屋）の寄付を受けたことをきっかけに翌六年度から「薬草の花咲く歴史の公園」甘草屋敷整備事業を展開してきました。用地、建物を市所有とし、文化財建造物の保存修理事業、敷地内の公園整備事業などを実施してきました。

平成十三年五月に甘草屋敷は、歴史的建造物と屋敷構えが一体となった「薬草の花咲く歴史の公園」として生まれ変わりました。



ボランティアによる植え付け作業（5～7月）

その後、さらに「甘草」自体を活かしたまちづくりを推進するため、甘草屋敷由来の「甘草」の栽培に成功していた製薬会社と連携し、平成二十五年二月十五日に「薬用植物を基軸とした商工業・農業振興及び地域文化振興のための包括的連携協定」を締結しました。協定書では、薬用植物や甘草屋敷に関する人的・知的・物的資源を有効かつ積極的に活用し、相互の協力により商工業・農業振興及び地域文化振興に貢献することを目的としています。具体的には栽培技術の確立や生産拡大、六次産業化の研究、甘草屋敷産甘草が育む地域伝統文化の継承と保護意識の向上、甘草の故郷として全国への情報発信などを推進し、「甲州甘草」のブランド化を図ることとしています。「甘草の里づくり」のスタートです。



3 甘草の栽培——植え付けから収穫まで

※甘草の苗づくり

甲州市内の試験圃場ほじょうに植えられている甘草苗は、協定に基づき、製薬会社から譲り受けたウラルカンゾウとスペインカンゾウです。また、さし芽作業による自前での苗の増殖にも挑戦中です。苗を増やしていく方法を見極めていくのが今後の課題です。

※甘草苗の植え込み

製薬会社から送られてきたポット苗は、適度に水を遣やりながら、畑への植え付けの時期を待ちます。畑づくりは、畑を耕し、畝うねを作ります。畝高は二〇〜三〇センチほどの高さにし、雑草対策のマルチシートと防



さし芽作業による増殖



草シートを張ります。土質については、砂地や粘土質、野菜畑や耕作放棄地などに植え込みを行い、成長を確認してきましたが、成長に決定的な差は出ていません。ただ、栄養分を持った肥沃な土地のほうが成長は良いようです。マルチシート等を張る前に土壌に石灰分を加えます。

植え方は、ポットから出して植え付ける「露地栽培」とポットのまま植え付ける「ポット苗栽培」の二通りがあります。根がポットの底から見えるようになったら畑への定植の合図です。三〇センチ程度の間隔で植えていきます。

✿ 甘草の栽培

植えられた苗が根付くまでは、水遣りが必要です。特に気温が上がり、雨が少ない季節は、水分がないと枯れてしまいます。

「甘草」（特にウラルカンゾウ）は雑草に弱い植物です。ポット内の苗のまわりやマルチシートの間から伸びてくる雑草を丁寧に取り除きま



マルチシートと防草シートを張っております



ずらりと植えられたポット苗の様子

す。

栽培中、農薬、消毒薬の類は使用していません。これは薬用作物全体を見ても使用農薬、消毒薬の種類が少ないことと、収穫物への影響が確認されていないためです。

「甘草」の栽培期間は、約一年半の月日がかかります。五月から七月ごろに定植した苗は、夏から初秋にかけて青々とした葉を茂らせませす。その間、根も土中内縦横無尽に成長していきます。

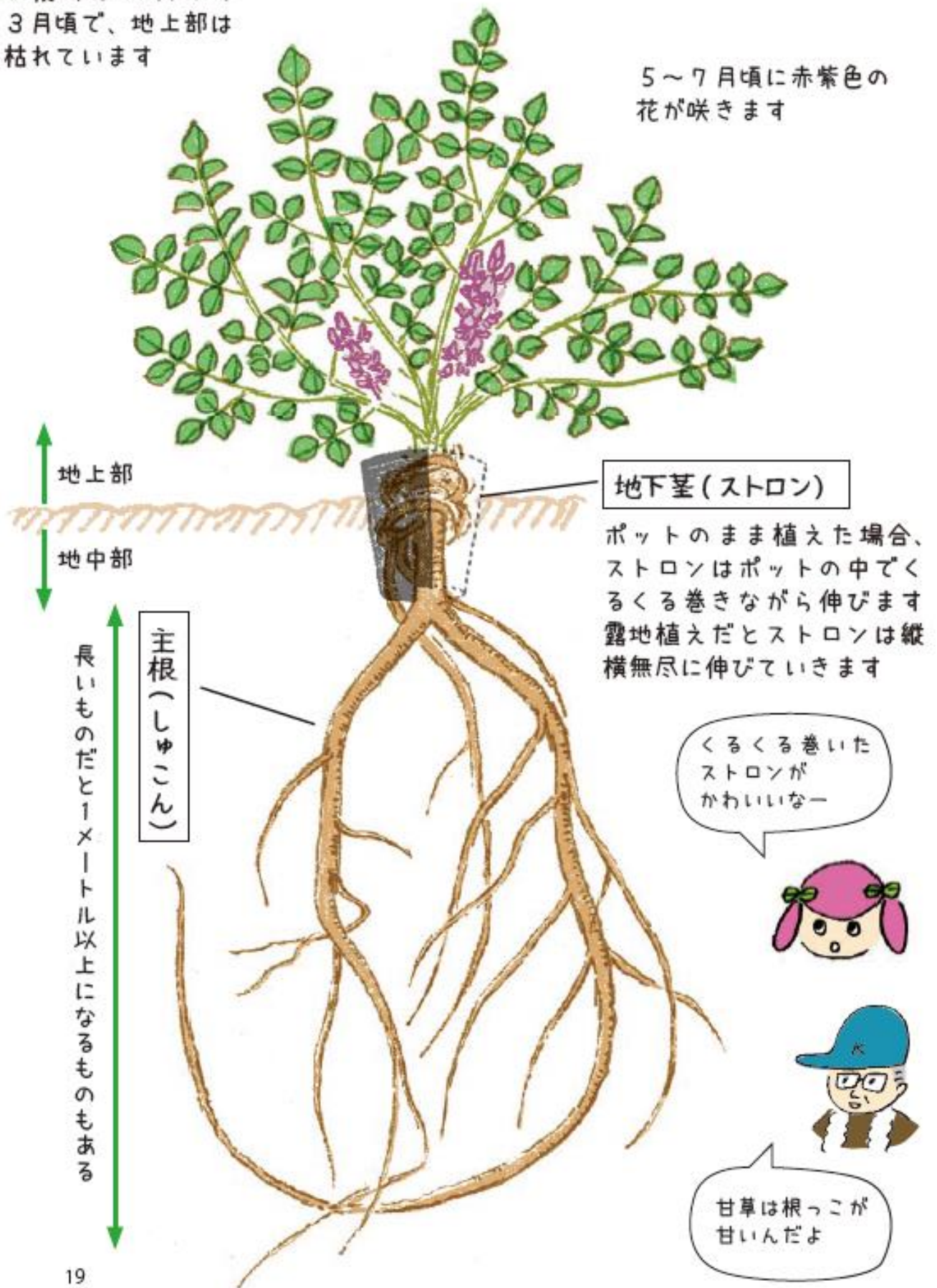
「甘草」の使用部位は根及び地下茎（ストロン）になります。秋から冬にかけて葉は一度冬枯れし、「甘草」の根は越冬します。翌年に備えて枯れ枝を除去し、霜よけシートを張ります。二年目を迎えた「甘草」は三月から四月ごろ新しい芽を出します。夏から秋にかけて青々と葉を茂らせ、二度目の冬枯れをした十一月から三月ごろまでの間に収穫します。



甘草の全体像 (イメージ)

収穫時は11月から
3月頃で、地上部は
枯れています

5~7月頃に赤紫色の
花が咲きます



地下茎(ストロン)

ポットのまま植えた場合、
ストロンはポットの中でき
るくる巻きながら伸びます
露地植えたときストロンは縦
横無尽に伸びていきます

くるくる巻いた
ストロンが
かわいいなー



甘草は根っこが
甘いんだよ

✪ 甘草の収穫

「甘草」の収穫は、まず、マルチシート、防草シートをはがします。成長した「甘草」は、深いもので土中一メートル以上になるものもあります。また、一株から主根と地下茎（ストロン）が複数本絡み合うように成長しています。

作業には重機を 사용합니다。重機で一気に掘り上げた後人力で根を集めます。スコップ等人力で掘り上げるのは時間がかかり、一株掘るのに三〇分以上かかり、効率的ではないためです。

収穫した「甘草」は、洗浄、粗乾燥あらかんそうし加工作業へと移ります。

重機で掘り起こし、
人力で根っこを
集めます



手作業では、
ひと株掘るのに
30分以上かかります



甘草の加工、一般的な使用例

⌘ 甘草の加工方法

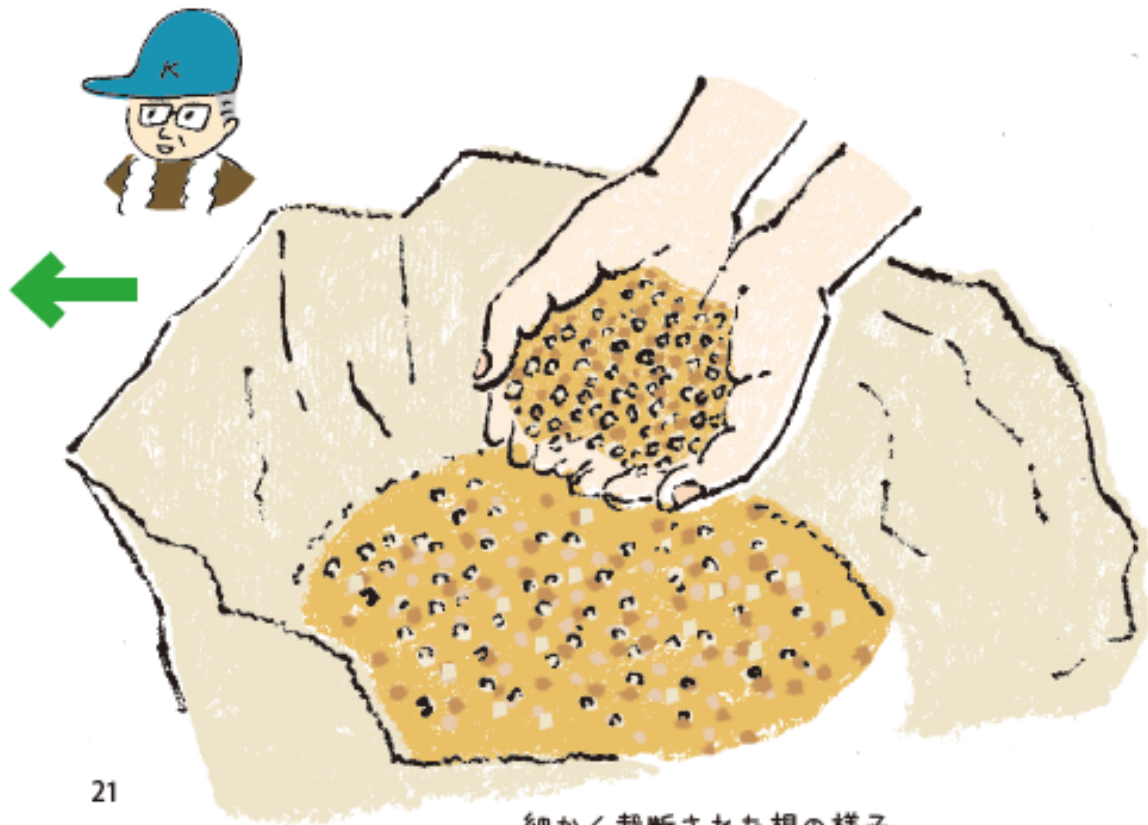
収穫された「甘草」の根は、加工された後に使用されます。加工方法としては、滅菌した後、裁断（チップ化）、粉末化、エキス末化など用途に合わせて加工していきます。

加工作業については、生薬を取扱う企業や製粉会社などノウハウのある専門業者が行います。

⌘ 一般的な使用例

「甘草」は、様々な形で使用されます。一般的に薬用と非薬用に区別されます。

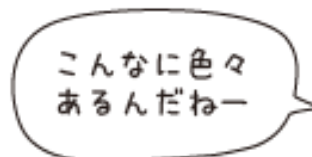
チップ化された甘草の根って何に使われるのかな？



細かく裁断された根の様子

「甘草」はもともと薬用作物として栽培されていました。そのため現在でも多くの医薬品の原料として使用されます。医薬品原料の場合、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」で規格基準が定められています。「甘草」の場合は、使用部位は根を乾燥したもので、グリチルリチン酸が2.0パーセント以上を含むものとされています。また、「薬価」で医薬品自体の価格が決まっているので、原材料となる「甘草」の価格もおのずから決まってくるのです。

非薬用としては、食品添加物などに幅広く使われています。砂糖の数倍の甘さがあると言われ、味を調える効果もあるので、食品への甘味料として使われます。またハーブとしての一面も持っていますので、お茶など飲料として、その他入浴剤、石鹸、たばこの香り付けなど幅広く使用されています。平成二十八年の時点では、国内の使用量は一六三八トンであり、そのすべてが輸入品でした。



Chapter 5

甲州市の甘草の商品化

※ 甲州市独自の商品化への挑戦

甲州市産の「甘草」の活用を考えたとき薬用としての使用は、取引価格、生産量、品質などの課題が数多くあるため、薬用に縛られない独自の商品化に使用価値を求めています。甲州市で栽培された「甘草」を使用し、「甲州甘草」のイメージに合った商品、特産品の企画・開発を行っています。

具体的には、「甘草ブレンドティー」の製造・販売や「お札せんべい」「甘草屋敷羊かん」への甲州市産「甘草」の使用、「甲州甘草の湯」（入浴剤）の製造、甘草入り味噌、果物とミックスしたフレーバーティーなど、試作品の製造を行っています。

様々な形の甘草商品を数多く世に出すことで甘草の栽培を活発化させ、「甘草の里づくり」を発展させることを目的としています。



甲州市で栽培された甘草を使用して企画開発された商品や試作品の数々



Chapter
6 

将来の甘草の里づくり

※これからの甘草

「甘草の里づくり」は、甘草屋敷を中心とした甲州市の歴史文化を現在の産業に活かしていこうという取り組みです。

この取り組みは、単なる「甘草」の栽培、商品化による農業・商工業の活性化だけでなく、文化財を通じた市民の生涯学習への活用、観光面への活用、健康増進への関わりなど市民に幅広く関係してきます。

これからも甲州市では「甘草の里づくり」を力強く推進していきます。みなさまのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

令和二年三月

甲州市甘草活用研究会



あとがき

奈良時代に中国から渡来し日本各地に広がった甘草は、明治維新以後の漢方から西洋医学への転換による需要の減少や、外国品流入による供給構造の変化により、他の作物に切り替えられ、なくなってしまう。甘草屋敷当主の高野家でも、栽培地は水田や桑畑、ぶどう畑と変遷しており、絶えても不自然ではなかったが、ぶどう畑の片隅、キウイ棚の下で、ひっそりと生きのびていたのである。

しかしその甘草にも絶滅の危機が訪れる。昭和六一年の塩山駅北口開設である。駅北口開設は地域の悲願であり慶事であるが、一方で都市化を招来する。その都市化の波は、農地の宅地化圧力となって、密かに生きのびてきた甘草を飲み込もうとしていた。ぶどう畑

が貸店舗と来客者用駐車場に生まれかわることになったのである。

計画通りの駐車場なら、甘草は舗装路面の下になってしまふ。こうなれば、甘草屋敷由来のウラルカンゾウを今日我々が目にすることはできなかつたであろう。

危機を救ったのは、ご近所のHさんご夫妻である。Hさんの奥さんのNさんは、この地域で生まれ育ち、甘草屋敷のご当主とも親しい間柄。Nさんは、甘草屋敷の甘草がどんな植物なのか、好奇心旺盛な少女時代に地域の古老から教えてもらっていた。

甘いのは葉っぱではなく根っこだということも、キウイ棚の下で毎年数本芽を出すことも、屋敷が遊び場だったNさんは知っていた。長年甘草と接する中で愛着心は育まれる。

身近にある威風堂々たるお屋敷が国指定の

重要文化財であることも誇りに感じていた。

駐車場計画を知ったNさんは、「甘草は甘草屋敷の名前のもと、甘草がなくなることは甘草屋敷が甘草屋敷でなくなってしまう」と危機感を募らせる。普通なら「甘草守れ」運動を展開するところであろうが、ご近所付き合いも良いNさんは直談判。

「キウイ棚周辺だけは残しましょう、甘草のために」、駐車場造成工事を担当することになったご主人と共に進言。高野家ご当主もこの話に共感、賛同して頂いたことから、ぶどう畑のうち、キウイ棚周辺はそのまま残ることになり、甘草は救われたのである。

筆者は、「甘草は栄光のパイプレーヤー」だと思っっている。主役ではないから目につかず、名前もおぼえてもらえないが、現代では漢方薬のみならず、調味料、化粧品、……等々様々

な分野に用いられ、もはやなくてはならない存在である。そんな名脇役の甘草、なかでも甘草屋敷由来の甘草には、沢山の「ものがたり」がある。塩山駅のすぐそばで江戸時代に栽培され、人々を病の苦しみから救っていた歴史、日本で唯一奈良時代から悠久の時を生き続ける甘草とそれを支えてきた人達のドラマ……等々。甘草という植物は余りにも地味で自己主張がない。ならば我らが代りに語り継いで行きたい、そんな思いをこの小冊子に込めたつもりであるが、出来栄はどうか。

この小冊子の文章の多くは甘草活用研究会事務局が、装丁及びイラストは町屋区在住のTさんが担当した。Tさんには話の展開法等で、編集人が考え及ばない様々なアイデアを出して頂いた。お二人の力なくしてこの本は生まれなかったと思う。心から感謝申し上げます。(滝)



甘草 Q & A



Q 1. 甘草の種類はどれくらいあるか。

A 1. ウラルカンゾウ、スペインカンゾウ、ロシアカンゾウなど18種が知られている。

Q 2. ウラルカンゾウの特徴は何か。

A 2. 一般的な甘草は、ウラルカンゾウとスペインカンゾウに大別される。スペインカンゾウに比べて、ウラルカンゾウは生育が悪く、葉は丸みを帯びており、匍匐型に成長する。漢方薬に使用されているのは、ほとんどがウラルカンゾウである。

Q 3. 甘草はどのような植物か。

A 3. 世界各地に自生するマメ科の多年草である。

Q 4. 甘草はどのような土地に生えているか。

A 4. 自生甘草については、砂漠地、砂地が多い。試験栽培の結果をみると、一般的な畑地であれば、栽培は可能である。

Q 5. 市内の試験栽培地の中でどこの栽培地が適していたか。

A 5. 甘草屋敷周辺、標高 800 m 付近の高地、砂地の畑などで試験栽培を行ったが、一般的にどの試験圃場においても甘草の栽培は可能であっ

た。傾向としては、^{モさいばたけ} 蔬菜畑など畑として活用していた肥沃な土地のほうが生育状況は良かった。

Q 6. 甘草を栽培するのにどのような作業が必要か。

A 6. 畑に定植してからは、根がつくまでの水遣りが必要。あとは、甘草は雑草に弱いので、こまめな雑草除去が必要。農薬、消毒薬等は使用していない。植付け時期は5~7月頃、ひと冬を越し、翌年の11月~3月頃に収穫を行う。

Q 7. 甘草はどの部位を使用するか。

A 7. 根及び地下茎を使用する。

Q 8. 薬用としての甘草にはどのような効能があるか。

A 8. 鎮痛、鎮痙、解毒、鎮咳などに用いられることが多く、一般漢方処方約7割に使用されている。

Q 9. 漢方薬の約7割に甘草が使用されている理由は何か。

A 9. 甘草そのものの鎮痛剤としての役目のほかに、生薬を組合せ、漢方薬を製造する場合、その生薬の特徴により、調剤が難しくなる場合があるが、甘草の調和、調整機能により、調剤しやすくなるため。



Q10. 甘草はどのような薬に使用されているか。

A10. 甘草は緊張緩和剤として使用されることが多く、諸々の急迫症状の緩和に使われることが多い。胃腸系の痛み、痙攣、筋肉の痙攣緩和に使用されることが多い。代表的な漢方薬としては、葛根湯、小青竜湯などがある。

Q11. 甘草を摂取する場合の注意事項は？

A11. 甘草の主成分グリチルリチンには、偽アルドステロン症といわれる副作用あり。主な症状は、血圧が上がったり、手足の力が抜けたり弱ったり、浮腫みが出るなど。このため1日の摂取量が決められている。グリチルリチンでは200mg/1日。これを甘草に換算すると5g/1日となる。1日に、甘草抽出物が添加されている複数の食品をとっても制限値を超過することはまずないとの研究論文はあるが、体質によっては過敏に反応することもありえるため、注意が必要である。

Q12. 甘草屋敷で甘草を栽培した経緯はどのようなものか。

A12. どのような経緯で甘草屋敷(高野家)において甘草の栽培を始めたのかは定かではないが、甘草屋敷の甘草は戦国時代に甲州に持ち込まれたものに由来していると思われる。

Q13. 何時ごろ、どのような経路で甘草が伝来したか。

A13. 紀元前から薬用として用いられていた歴史があり、大陸から伝来したと思われるが、正確な時代は特定できていない。ただ、奈良県の正倉院の宝物の中に8世紀ごろの甘草が保管されており、国内最古の甘草と言われている。

Q14. 花が咲きにくいといわれているが、どのように培養してきたか。

A14. 培養ではなく、さし芽栽培で増殖してきた。花が咲く年とほとんど咲かない年があり、咲く年も1割程度しか咲かない。

Q15. 幕府への甘草献上が終了した理由は何か。その後高野家の甘草栽培はどうなったか。

A15. 明治維新により幕府が消滅したため。また、明治時代中央本線が開通し、塩山駅が開設されたため、駅周辺の開発が進み、甘草栽培は終わりを告げた。屋敷内に一部残っていた甘草により、平成の時代になって甘草栽培が復活した。



私もそだててみたいなー



甘草の歴史年表



年代	甘草屋敷の甘草	甘草を含めたハーブの出来事	日本と世界の出来事
38 億年前			地球上に原核生物誕生
4 億 2 千年前		藻から進化した植物誕生苔	
130 万年前			人類が火を使いだす
10 万年前		ネアンデルタール人の埋葬墓から献花とみられる矢車草の化石花粉が発見される イラク	
紀元前 1 万年前			石器時代
紀元前 3000 年		シュメール文明の粘土板に植物生薬 250 種の記載	
紀元前 2800 年		中国伝説の皇帝「炎帝神農」現る（農業や医薬等の祖神）	
紀元前 1750 年		ハンムラビ法典に「甘草」の記載	
紀元前 1300 年		エジプトのツタンカーメンの王墓から副葬品として「甘草」発見	
紀元前 300 年		ギリシャの医聖といわれたヒポクラテスの著書に「甘草」の記載	
54 年 1～2 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・万能解毒薬「テリアカ」をローマ皇帝の侍医が作る（その処方の変化しながら昭和初期まで膏薬として使用された） ・中国最古の医薬書（本草書）「神農本草経」作製される 甘草は無毒かつ生命を養う上薬として分類 	
210 年頃		伝統中国医学の古典「傷寒論」に多くの甘草処方が記載	<ul style="list-style-type: none"> ・卑弥呼が藍染めの反物を献上 ・魏志倭人伝

年代	甘草屋敷の甘草	甘草を含めたハーブの出来事	日本と世界の出来事
350年頃			<ul style="list-style-type: none"> ・大和朝廷成立 ・ローマは暗黒時代 ・朝鮮は新羅時代へ
500年頃		<ul style="list-style-type: none"> ・仏教、薬学、医術伝来 ・遣隋使（後の遣唐使）が甘草を持ち帰る 	
700年頃 奈良時代		<ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子、四天王寺内に施薬院を建立 初の庶民救済施設、薬草園、薬局である ・甘草は重要薬用植物 常陸、陸奥、出羽国から朝廷への献上品に含まれたとの記録あり 	
750年頃		<ul style="list-style-type: none"> ・光明皇后、正倉院に「甘草」等の薬物 60種を納める（現在宝物として保管） ・鑑真が調合薬「奇効丸」を施薬する 	
800年頃		日本独自の医薬書「大同類聚方」出版（甘草が広く用いられていたことがわかる）	
900年頃		初の療法書図鑑植物、動物、鉱物 1025種の生薬について記載した「本草和名」出版	
1000年頃		ヨーロッパ各地に薬局ができる	
1100年頃			十字軍遠征
1440年頃		魔女狩り（ハーブ療法も迫害を受ける）	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネッサンス期 ・日本は戦国時代
1550年頃	武田信虎 甘草を甲州に持ち込む	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーブが活用された全盛期といわれている ・織田信長が外来薬草園を造る 	安土桃山時代
1650年頃	小石和筋東新居村（現在の笛吹市一宮町東新居）から根分けされ、高野家にて甘草栽培はじまる		

年代	甘草屋敷の甘草	甘草を含めたハーブの出来事	日本と世界の出来事
1700年頃	甘草は高野家以外でも下柚木の原家など、小規模ではあるが広く植えられていた模様	<ul style="list-style-type: none"> ・香水がフランスで流行る ・リンネが生物体系を分類する ・貝原益軒が「大和本草」を著す ・フランスのナポレオン・ボナパルトは胃痛緩和のため甘草を噛んでいた 	<ul style="list-style-type: none"> ・1703 江戸元禄大地震 ・1707 イングランド王国とスコットランド王国が合併、グレートブリテン王国に ・1716 徳川吉宗第8代将軍に
1720年	享保5年 幕府の採業使丹羽正伯が上於曾村伊兵衛の屋敷内の「甘草」を検分、幕府御用となる	<ul style="list-style-type: none"> ・8代将軍徳川吉宗 享保の改革(1716～1735)で薬草園の拡充強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガリバー旅行記出版 ・イギリス東インド会社がインド全域に覇権確立
1722年		幕府小石川養生所開設	
1723年	【第一次甘草絶滅危機】 享保8年 採業使の植村佐平次が3本を残して、甘草を掘り取り、持ち去る。3本の甘草、干ばつにより枯れるも、根茎が生きていたため復活	※【第一次甘草絶滅危機】の「甘草」とは、「甘草屋敷由来の甘草」のことです。	
1728年	復活甘草が77本を数えるまでに拡大	日本にコーヒー伝来	
1729年頃	この頃甲州産と思われる甘草が植村佐平次より森野藤助に渡る(奈良県宇陀市、森野旧薬園)		
1776年			アメリカ独立宣言
1800年代頃	幕府の小石川薬園で栽培するための補給源としてまた薬種として幕府へ上納	<ul style="list-style-type: none"> ・フランスでバラの交配が盛んになる ・幕府が西洋から野菜、穀物の種子を輸入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・南米諸国がスペイン、ポルトガルから独立 ・1840-1842 アヘン戦争(イギリスと清) ・1854 安政東海地震、安政南海地震 ・1855 安政江戸地震 ・1858 日米、日蘭、日露、日英、日仏の各修好通商条約調印 ・1868 明治元年 ・1871 廃藩置県

年代	甘草屋敷の甘草	甘草を含めたハーブの出来事	日本と世界の出来事
1872年	【第二次甘草絶滅危機】 明治5年 甘草の「上納」に関する書付は、この年で終わっている。		新橋 - 横浜間に鉄道開業
1873年から			<ul style="list-style-type: none"> ・1889 大日本帝国憲法発布 ・1891 濃尾地震 ・1894 日清戦争
1900年代頃	<ul style="list-style-type: none"> ・1903 (明治 36年) 国鉄塩山駅開業 ・昭和3年 文部省囑託 上田三平氏が「日本薬園史の研究」を通じて高野家にあった「甲州甘草文書」59点を三巻に装丁する (この時、甘草はぶどう畑に数本生えていた) ・昭和28年 山梨大学藤田元春氏「甘草屋敷と其の文書」により甘草文書の書き下ろし等発表 ・昭和28年 高野家住宅、民家として山梨県で最初の国指定重要文化財に指定 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道でハッカ栽培が盛んになる。メントールが出て衰退する ・20世紀は近代医学薬学の全盛期 (伝統医療・薬法の衰退期) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1904 日露戦争 ・1912 年号 明治から大正へ ・1914 第一次世界大戦 ・1917 ソビエト政府樹立 ・926 年号 大正から昭和へ ・1931 満州事変 (柳条湖事件) ・1941 太平洋戦争勃発 ・1945 第二次世界大戦終戦
1970年代		<ul style="list-style-type: none"> ・アフガニスタン含む中東からの甘草輸入が途絶 ・中央アジア連邦諸国との甘草貿易停滞 	ソ連のアフガニスタン侵攻
1980年代	【第三次甘草絶滅危機】 1986 (昭和 61年) 塩山駅北口開設		<ul style="list-style-type: none"> ・イラン・イラク戦争勃発 ・ソ連 ペレストロイカ
1990年 平成2年	大阪薬科大学草野源次郎氏ぶどう畑わきのクワイ棚下に甘草数本生えているのを確認	中国 資源ナショナリズムの高まり、自国加工業振興目的のため甘草輸出規制	ドイツ再統一
1993年 平成5年	甘草屋敷主屋が塩山市 (現甲州市) に寄付される	生物多様性条約発効	皇太子徳仁親王小和田雅子さんとご成婚

年代	甘草屋敷の甘草	甘草を含めたハーブの出来事	日本と世界の出来事
1994年 平成6年	「薬草の花咲く歴史の公園」整備事業スタート		関西国際空港開港
1995年 平成7年			1.17 阪神淡路大震災
1996年 平成8年	附属屋5棟、附（つげたり）3棟、宅地など追加指定 名称も「旧高野家住宅」となる		
1997年 平成9年	主屋と公園の一部を公開		
1999年 平成11年	「甲州甘草文書」山梨県指定文化財に指定		茨城県東海村の原子力施設で臨界事故
2001年 平成13年	・甘草屋敷は「薬草の花咲く歴史の公園」として生まれかわる ・第1回甘草に関するシンポジウムを塩山市（現甲州市）で開催	昔ながらの自然療法が見直され、西洋医学との統合医療へ	・中央省庁再編 1府22省庁→1府12省庁へ ・量的金融緩和策開始～2006 ・アメリカ同時多発テロ事件発生 <9.11>
2002年 平成14年	9月 皇太子ご夫妻「甘草屋敷子ども図書館」を訪問（この図書館は愛子さまのご誕生記念事業として開館したもの）		
2011年 平成23年			3.11 東日本大震災
2013年 平成25年	・甘草の里づくり事業スタート ・全国甘草栽培協議会設立	アメリカの特許制度が先発明主義から先願主義に切替	・笹子トンネル上り線復旧2月 ・東京スカイツリー本放送開始 ・JRリニア山梨実験線全線開通
2017年 平成29年	第8回甘草に関するシンポジウムを甲州市で開催		生まれた子どもの数100万人割れ（前年度、97万人）

<参考文献>

- ・日本のハーブ事典 村上志緒著
- ・薬草の科学 佐竹元吉著
- ・江戸の植物学 大場秀章著
- ・江戸時代漢方の歴史 羽生和子著
- ・甘草に関するシンポジウム講演要旨集 編集責任者 草野源次郎
- ・「旧高野家住宅・甘草屋敷ガイドブック」 塩山市教育委員会発行・編集
- ・フリー百科事典のウィキペディア
- ・日本における原料生薬の使用量に関する調査報告 日本漢方生薬製剤協会生薬委員会

甘草ものがたり 甘草のことがわかる本

2020年3月1日 第1刷発行

企画・発行 甲州市甘草活用研究会
連絡先 甲州市甘草活用研究会事務局
〒404-8501
山梨県甲州市塩山上於曾 1085-1
甲州市役所観光商工課内
TEL 0553-32-5091 FAX 0553-32-5174
E-mail kankou@city.koshu.lg.jp



K a n z o M o n o g a t a r i